

断酒例会とオンライン断酒会を比較検討して

院内断酒会の有効活用を考える

医療法人耕仁会札幌太田病院

自活力回復棟 看護師 A

看護師 B 看護師 C 看護師 D

医局

医師 A

はじめに

- ▶ 2020年新型コロナウイルス感染症流行による人の密集の制限
- ▶ 集会の中止からオンライン集会の導入へ移行の流れ
- ▶ 当院においても・・・
- ▶ 2020年からオンラインを導入し、断酒会会場、各病棟、個人宅をつなぐハイブリット式断酒会を開催
- ▶ 現在も継続

方法

- ▶ **期間** X年8月の1カ月
- ▶ **手法** アンケート用紙を用いての聞き取り
- ▶ **対象** 院内断酒会参加者のうち
 - 会場参加の通院者 3名
 - 会場参加の入院者 2名
 - 自宅からのオンライン参加者 3名
- ▶ **分析** 内容を書き起こし、KJ法を用いた

結果

カテゴリー 1

オンラインはメリットが多く、人との交流がなくても
自助グループとして成り立つ

カテゴリー 2

人との交流がある通常断酒会に参加した方が楽しい

カテゴリー 3

ネット環境が整い操作方法がわかれば、
オンライン断酒会に参加したい

カテゴリー 1

人との交流がなくても
自助グループとして成り立つ【メリット】

感染リスクがない

遠方から参加可能

移動時間を
気にしない

どこからでも
参加可能

多忙でも
参加可能

直前まで
仕事ができる

気軽に話せる

集中出来る

周囲に人がいない

直接交流が出来なくても
気にならない

カテゴリー 1

人との交流がなくても
自助グループとして成り立つ【デメリット】

通信環境が
悪化することがある

会場側の音声
聞き取りにくいことがある



カテゴリー2

人との交流がある通常断酒会に参加した方が楽しい

直接反応が分かり
話がしやすい

聞いている人の反応が
分かり、話がしやすい

交流がないと
物足りない



カテゴリー 3

ネット環境が整い操作方法がわかれば
オンライン断酒会に参加したい

操作方法が解れば
オンラインでも参加してみたい

自分ではツールを
使いこなせない

操作が難しく
ハードルが高い

教えてくれる人がいれば
自宅で参加したい

都合に合わせて
参加したい

考察

インターネット環境の充実



人との関わり方も多様化



断酒会のあり方も多様化するべき



ハイブリッド方法等、柔軟な方法が求められている

課題

オンライン断酒会に
関心のある人の指導

会場側スタッフの
操作スキルの向上

参加者のルール

参考文献

特定非営利活動法人ASK 依存症当事者・家族による
オンライン活動（マニュアルと事例集）

伊藤美弥 他 オンライン断酒会の効果と課題（参
加者へのインタビューを通して）

成瀬暢也 アルコール依存症治療革命

ご清聴ありがとうございました